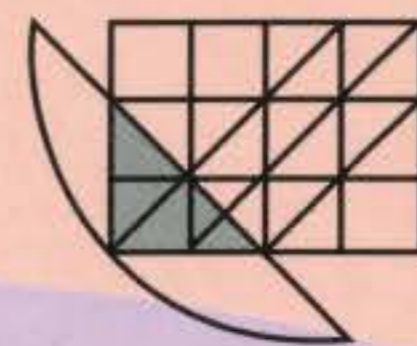


博物館だより



和歌山県立博物館

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

No.2

1997.10.1



おんべがわ
御幣川の合戦

馬上の上杉謙信(右)と武田信玄(左)が、川の中で激しく切り結ぶ。

紀州本川中島合戦図屏風 右隻(館蔵品)より

特別展

戦国合戦図屏風の世界

会期 平成九年一〇月一〇日(金・祝)～一二月九日(日)



重要文化財 関ヶ原合戦図屏風 (大阪市立博物館蔵)

◆戦国時代の有名な合戦を緻密な筆さばきで描いた屏風絵作品、いわゆる「戦国合戦図屏風」の名品三九件を全国各地から集め、一同に展示します。今回の調査で明らかになった、新発見の作品も公開されます。こうした展覧会としては、質・量ともに最大の展観となるはずです。どうぞ、ご期待ください。

※会期中、大幅に展示替えを行ないます。

前期／一〇月一〇日～一〇月二六日
後期／一〇月二八日～一二月九日

◆主な展示資料

- | | |
|--------------|------------|
| 川中島合戦図屏風 | 和歌山県立博物館蔵 |
| 川中島合戦図屏風 | 岩国歴史美術館蔵 |
| 川中島合戦図屏風 | 勝山城博物館蔵 |
| 川中島合戦図屏風 | ミュージアム中仙道蔵 |
| 姉川合戦図屏風 | 福井県立博物館蔵 |
| 賤ヶ岳合戦図屏風 | 大阪城天守閣蔵 |
| 長篠合戦図屏風 | 名古屋市博物館蔵 |
| 耳川合戦図屏風 | 萬野美術館蔵 |
| 朝鮮軍陣図屏風 | 鍋島報效会蔵 |
| 関ヶ原合戦図屏風(重文) | 大阪市立博物館蔵 |
| 大坂夏の陣図屏風 | 彦根城博物館蔵 |
| 大坂冬の陣図屏風 | 東京国立博物館蔵 |
| 島原の乱図屏風 | 秋月郷土館蔵 |
| 湊川合戦図屏風 | 個人蔵 |

●開館時間／午前九時三〇分～午後五時

(入館は午後四時三〇分まで)

●休館日／月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は翌日)

●入館料／一

●一般 八〇円(六六〇円)

●高校生・大学生 五〇円(四〇〇円)

●小・中学生 二六〇円(二一〇円)

* () は団体二〇人以上

徹底解説戦国合戦図屏風講座

講師・和歌山県立博物館

学芸員 高橋 修

この展覧会の企画担当者が、戦国合戦図屏風の魅力やその基本的な観賞の仕方について、作品を見ながら、わかりやすく解説します。

◆開講日

①一〇月一八日(土)午前九時三〇分～一時

②一〇月一八日(土)午後三時三〇分～五時

③一〇月 八日(土)午前九時三〇分～一時

④一〇月 八日(土)午後三時三〇分～五時

◆参加者は図録代(二一〇〇円)と入館料が必要です。

◆参加希望者は、①～④の開講日時を選択して、一〇月一〇日以降、博物館までお電話でお申し込みください。各回定員三〇名になり次第、締め切らせていただきます。

(☎)七三四―三六一八六七〇

紙本著色 熊野権現縁起絵巻 三巻

縦二九・一〇二九・四cm 横六八三・九〇九六一・一cm
寛永一四年（一六三七）

前回に引き続き、熊野信仰にかかわる資料を紹介
します。中世後期以後、熊野信仰を諸国に布教した
のが、熊野比丘尼とよばれた尼僧でした。彼女たち
が布教の道具として、つまり人々に絵解きをするた
めに持ち歩いたのが、こうした絵巻でした。「熊野
の本地」「ごすいでん縁起」とよばれることもあり
ます。内容は、三所権現をはじめとする熊野の神々



動物たちによって
育てられる王子 (中巻)



「万里の飛車」に
乗って飛来する神々
(下巻)

スポットライト・博物館 No.2
屋外展示室

エントランスホールから階段・エレベーターで2階にあがり、ドアを開けてテラスに出たところが、屋外展示室です。

野外にあるすぐれた文化財や景観は、博物館へ運搬して展示することができません。そこで、屋外展示室では、全国的にも名が知られた、熊野古道と高野山町石道という県下の二つの古道をとりあげ、関係する文化財の複製品・模造品を製作し、そのふんいきを感じとっていただくことを目的としています。

熊野古道にかかわる文化財としては、藤白峠の頂上にある地蔵峰寺（下津町）の地蔵菩薩坐像（原品は重要文化財）と箸折峠（中辺路町）にある牛馬童子像（原品は町指定文化財）の複製、女夫坂（中辺地町）の石畳の模造、そして7月に完成した王子社（上富田町の八上王子がモデル）の復元があります。王子社の玉垣には西行法師の歌が書き付けられていますので、確かめてみてください。なお、常設展示の「熊野詣」のコーナーでは、西行が玉垣に歌を書き付ける場面（「西行物語絵巻」）を展示していますので、こちらも参考にしてください。

高野山町石道にかかわる文化財としては、高野山上から数えて173町目に立つ花崗岩製の町石（原品は重要文化財、九度山町）の複製を置いています。



高野山町石 (複製)



牛馬童子像 (複製)



八上王子社 (復元) と地蔵菩薩坐像 (複製)

ほかに、紀州の歴史に登場する人物のパズルもあります。完成すると、和歌山県の地図ができあがります。こちらもトライしてみてください。

の起源を説明する次のような物語です。
天竺（インド）のマガダ国に、千人の妃を持つ「ぜんざい王」という国王がいましたが、王は「ごすい殿の女御」一人を寵愛したため、嫉妬した残り九九人の妃によって、殺されてしまいました。殺される直前に生まれ、一人残された王子は、山の中で動物たちによって育てられ、やがて「ちげん上人」によって国王との対面がかないます。
その後、国王・王子・上人たちは、蘇生した女御とともにマガダ国を去り、「万里の飛車」に乗って熊野に飛来し、それぞれ熊野三所権現などの神々になったということです。
以上のストーリーは、南北朝時代ころには成立していたと考えられています。室町時代から江戸時代前期にかけて、全国に広まっていったようです。

◎親と子の歴史教室③

「柿田荘絵図の世界を歩く」を終えて

さる五月二四日(土)に、親と子の歴史教室③「柿田荘絵図の世界を歩く」を実施しました。

田村和士・前田一郎両先生(かつらぎ町史編集委員)の解説により、JR笠田駅を発着点として、「柿田荘絵図」に描かれた地点を歩きました。

途中、絵図に「大道」と書かれている場所の付近で現在調査中の「窪・萩原遺跡」を見学することができました。また、絵図で「八幡宮」と書かれている宝来山神社では、同神社の森和弘先生に社殿などの解説をしていただきました。前半はあいにくの雨天でしたが、二四名の参加者は熱心に解説に聞き入っていました。



「大道」付近で解説を聞く



宝来山神社社殿の見学

博物館の利用案内

開館時間 午前九時三〇分～午後五時

(入館は午後四時三〇分まで)

休館日 ・月曜日

(月曜日が祝日の場合はその翌日)

・二月二八日～一月四日

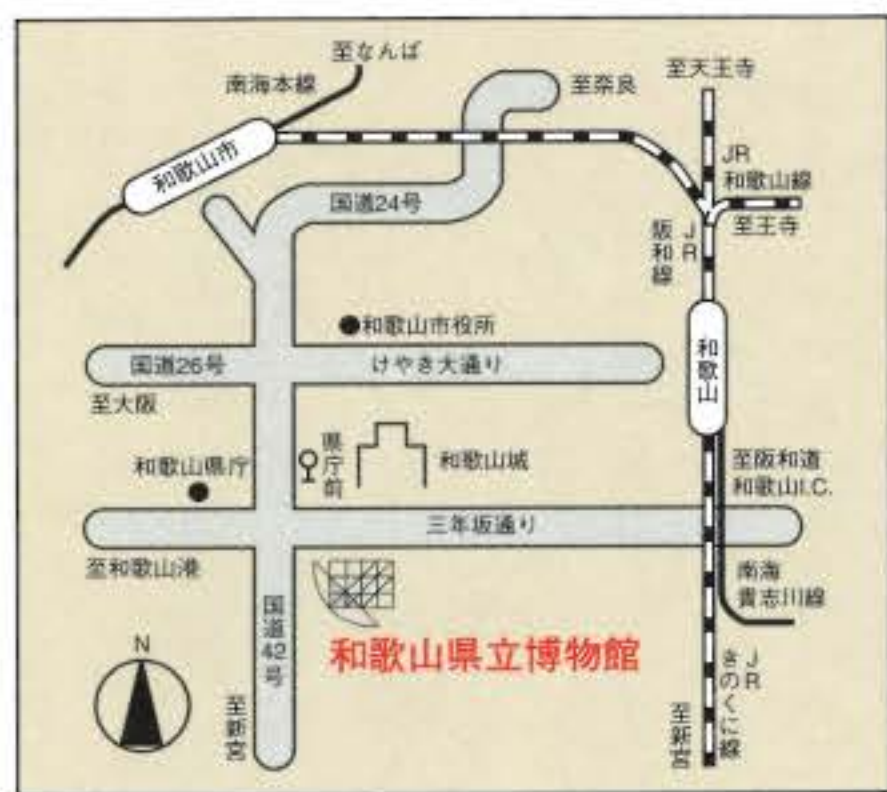
・臨時休館日

駐車場 九〇台収容

有料(二時間以内三〇〇円、以後三〇分ごとに一〇〇円追加)
(バスを駐車するスペースもあります)

・学校行事(遠足など)・授業でのご利用も可能です。常設展については、ティーチャーズガイドと生徒用ワークシートを用意しておりますので、ご来館の前にあらかじめご連絡・ご相談ください。

・特別展開催のため、常設展は一〇月三日～十一月一六日の期間、閉鎖いたします。また、一〇月三日～九日・十一月一日～一六日は臨時休館日です。



【交通案内図】

- ・JR和歌山駅からバス
1番・2番のりばから約10分、県庁前下車、徒歩約2分
- ・南海電鉄和歌山市駅からバス
9番のりばから約7分、県庁前下車、徒歩約2分

入館料

	個人	団体
一般		
(特別展)	八一〇円	六六〇円
(常設展)	二六〇円	二二〇円
高校生・大学生		
(特別展)	五一〇円	四〇〇円
(常設展)	一五〇円	一二〇円
小学生・中学生		
(特別展)	二六〇円	二二〇円
(常設展)	一〇〇円	八〇円

・団体は二〇人以上です。そのうち、引率者は無料です。
・六五歳以上の方と障害者の方は無料です。
(受付で証明書などを提示して申し出てください)

和歌山県立博物館友の会

◆◆会員募集のお知らせ◆◆

県立博物館では、友の会会員を募集しています。常設展・特別展を無料で観賞できるほか、色々な特典があります。年会費は、一般会員が三、〇〇〇円、賛助会員が六、〇〇〇円です。
申込・問い合わせは、和歌山県立博物館友の会事務局まで。
(☎〇七三三四―三六一八六七〇)

和歌山県立博物館 博物館だより 第二号

発行日 平成九(一九九七)年一〇月一日
編集 和歌山県立博物館
〒六四〇 和歌山市吹上二丁目四番一四号
TEL (〇七三三四) 三六一八六七〇